

京都漢方研究会
第 32 期「3 月特別講演」Ⅰ
2023 年 3 月 12 日

日々の臨床における傷寒論医学の応用

織部内科クリニック院長
織部 和宏 先生

【プロフィール】

- 1973 年 神戸大学医学部卒業。神戸大学医学部附属病院放射線科入局。
1976 年 九州大学医学部温泉治療学研究所附属病院（現・九州大学病院別府先進医療センター）内科入局。放射線診断学を活かした膠原病やリウマチの治療研究に従事、外来医長、病棟医長を歴任。
1980 年 大分赤十字病院第 2 内科部長に就任、九州大学医学部生体防御医学研究所講師を兼務。
1986 年 織部内科クリニックを開院。

一貫堂・薬系漢方・中医学と幅広く学び、1992 年より山田光胤先生に師事し日本漢方を研鑽。生涯勉強の精神のもと、日本漢方をベースに中医学の診断法・薬能分類も取り入れて患者に対峙。2002 年織部塾を開塾、後進の漢方指導にあたっている。

日本東洋医学会指導医・漢方専門医。日本東洋医学会代議員。大分大学医学部臨床教授（漢方外来）。2012 年日本東洋医学会奨励賞受賞。

著書：『漢方事始め』（日本医学出版）、『東洞先生はそうおっしゃいますが』（たにぐち書店）、『漢方診療ワザとコツ』（東洋学術出版社）があり、共著も多数ある。

